

## 平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	航空英語(TOEIC)セミナー I (TOEIC Seminar I)		授業コード	N110101
担当教員名	吉川 知子・ダレン ウォール		科目ナンバリングコード	N21101
配当学年	2	開講期	前期	
必修・選択区分		単位数	1	
履修上の注意または履修条件	TOEIC初心者向けの基礎講座です。今学期中に最低1回TOEICを受験すること。期末テストはIPテストになっています(受験料が必要です)。			
受講心得	TOEICスコアを本気で上げたいと願い積極的に自分の間違いから学ぼうとすること。			
教科書	プリント			
参考文献及び指定図書				
関連科目				

授業の目的	TOEICとはどのようなテストなのか知る。実際に問題を解いて理解を深める。TOEICテストのリスニング部分(Part 1~4)を中心に紹介し、勉強法を学ぶこと。
授業の概要	プリントの問題を解き、問題の解き方や必要な語彙や文法を習得する。TOEICテストの出題傾向や問題への慣れを各講義内でペア、グループワークも含め高めていく

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： TOEIC模擬テスト	
第2週：  TOEICの基本 構造 意義 / 勉強法 / Vocabularyを増やすには	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
第3週：  TOEIC基礎テスト / Listeningを伸ばす方法 / 基本の単語180	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
第4週：  TOEIC Test Part 1, 2 / Voca quiz	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
第5週：	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解

TOEIC Test Part 3, 4 / Voca quiz / Voca5	き終わる。
<b>第 6 週 :</b>  TOEIC Test Part 1 / Voca quiz / Voca22	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 7 週 :</b>  TOEIC Test Part 2 / Voca quiz / Voca12	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 8 週 :</b>  TOEIC Test Part 3 / Voca quiz / Voca16	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 9 週 :</b>  TOEIC Test Part 4 / Voca quiz / Voca4	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 10 週 :</b>  TOEIC Test Part 4 / Voca quiz / Voca4	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 11 週 :</b>  TOEIC Test Part 5 Intro/ Voca quiz / Voca29	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 12 週 :</b>  TOEIC Test Part 6 Intro / Voca quiz / Voca19	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
<b>第 13 週 :</b>  TOEIC Test Part 7 Intro / Voca quiz / Voca8	毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。

第14週:	TOEIC Test Part 7 Continue/ Voca quiz / Voca17		毎回TOEICの語彙リストを配布。次週のクイズのために自主学習。講義内で解き終わらなかった問題を解き終わる。
第15週: 期末試験	TOEIC IP test		
第16週: 期末試験	TOEIC IP test		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」	
	(2)複数担当の場合の方式		
	(3)アクティブ・ラーニング		
地域志向科目			
備考	公式テストを受験予定の学生は前もって知らせてください。		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	間違いから学ぼうとする姿勢を持つ。
【知識・理解】	講義内または宿題、自習などで得た知識を駆使する。
【技能・表現・コミュニケーション】	周りの学生と一緒にコミュニケーションを図りながら講義に参加する。
【思考・判断・創造】	講義内で習得したものを実際にいかす。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点			
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	15点			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安

レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	